

2023年8月25日
6633 TSE Standard

2023年12月期第2四半期 決算説明動画配信

株式会社 C & G システムズ

目次
Index

01	会社概要	…3
02	2023年12月期 第2四半期決算概要	…12
03	中長期事業方針	…19
04	2023年12月期 通期業績見通し	…25
05	株主還元について	…29

01

会社概要

会社概要

会社概要

商号	株式会社C & Gシステムズ（6633）
主力事業	金型を中心に量産製造を支援するCAD/CAMシステム、生産管理システム等の開発、販売、サポート
所在地	（東京本社） 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー19F （北九州本社） 福岡県北九州市 八幡西区引野1-5-15
設立年月日	2007年7月2日
資本金	5億円
直近連結業績 （2022年度）	売上高：44億21百万円 営業利益：4億55百万円
事業所	国内7拠点 （東京/北九州/大宮/名古屋/大阪/松本/仙台） 海外2拠点（インドネシア、ベトナム） 海外事業子会社3社 （タイ/カナダ/米国 [金型製造]） 海外総代理店3社（韓国/中国/台湾）
連結社員数	248名（2023年6月末現在）

国内外ネットワーク

東アジア（各国代理店）

韓国：IGPNET社
中国：Shanghai C.J
System
Technology社
台湾：Createwell社

アセアン

タイ：CGS ASIA（子会社）
インドネシアテクニカルセンター
ベトナムテクニカルセンター



CGS ASIA



インドネシア
テクニカルセンター



ベトナム
テクニカルセンター

国内

東京支店
松本営業所
大宮支店
東北オフィス
名古屋支店
大阪支店
九州支店
海外営業本部



東京本社



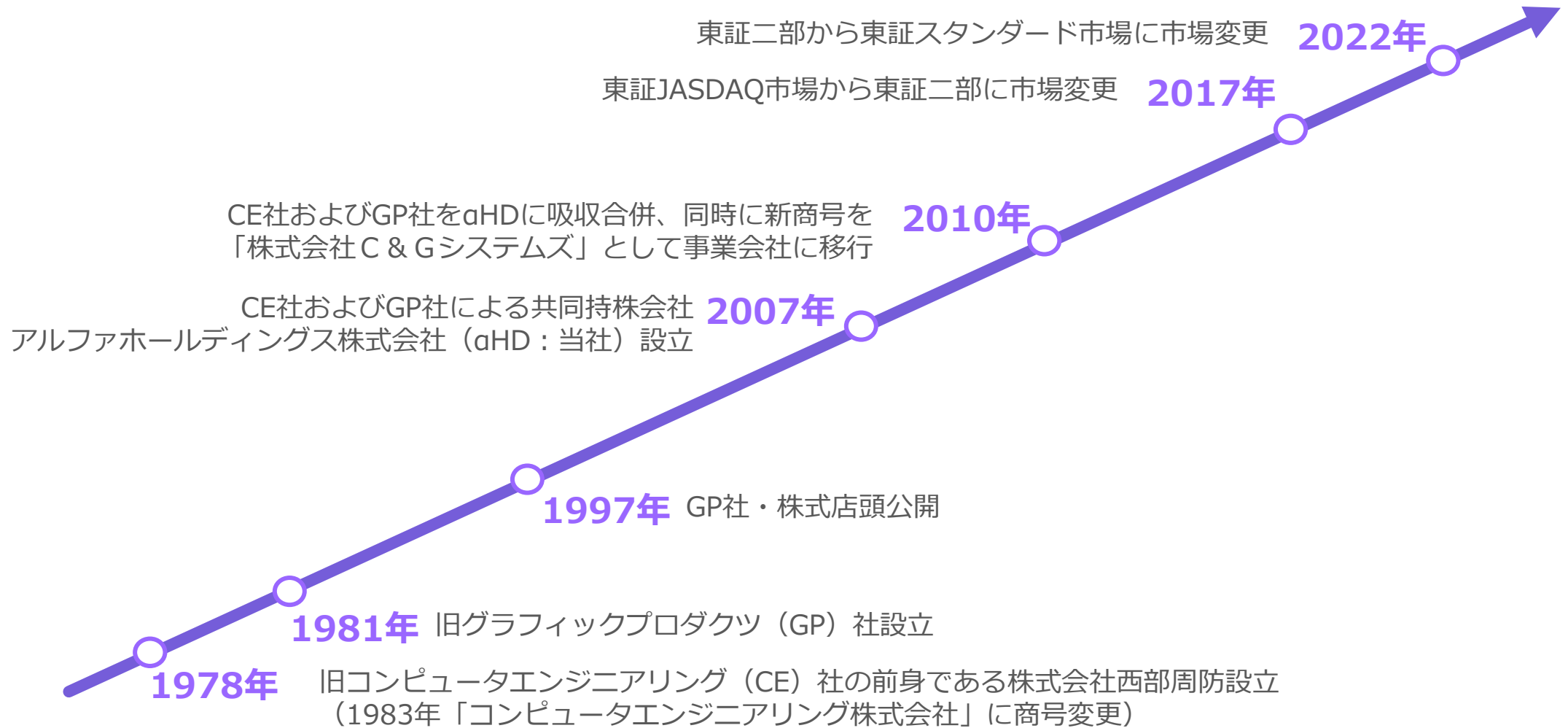
北九州本社

カナダ

CGS CANADA（子会社）

米国（金型製造事業）

Tritech International, LLC



Mission Statement 社是

生産性の限界に挑戦する

Management Philosophy 経営理念

技術立国日本を代表するCAD/CAM ソリューションメーカーとして、
世界のモノづくりに貢献する。

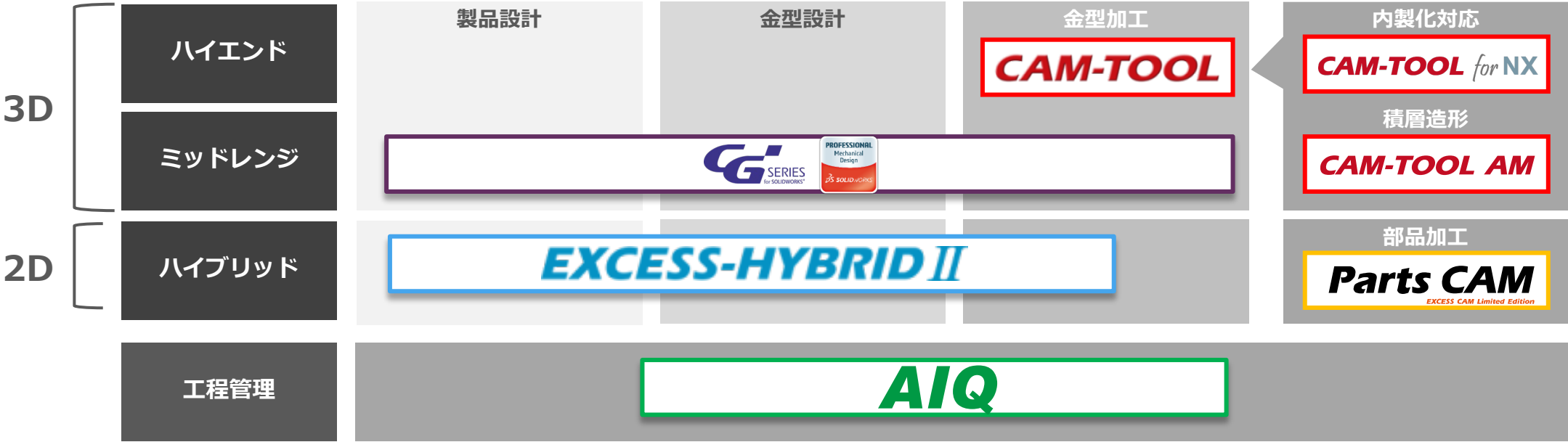
Growth Strategy Theme 成長戦略テーマ

Global Niche Top

～「金型を中心に量産製造を支援するCAD/CAM」というニッチな市場において、
グローバルにトップ企業になることを目指す～

主要製品および導入実績

製品ポジショニングマップ



累計導入実績および主要ユーザ…国内外合計7,000事業所

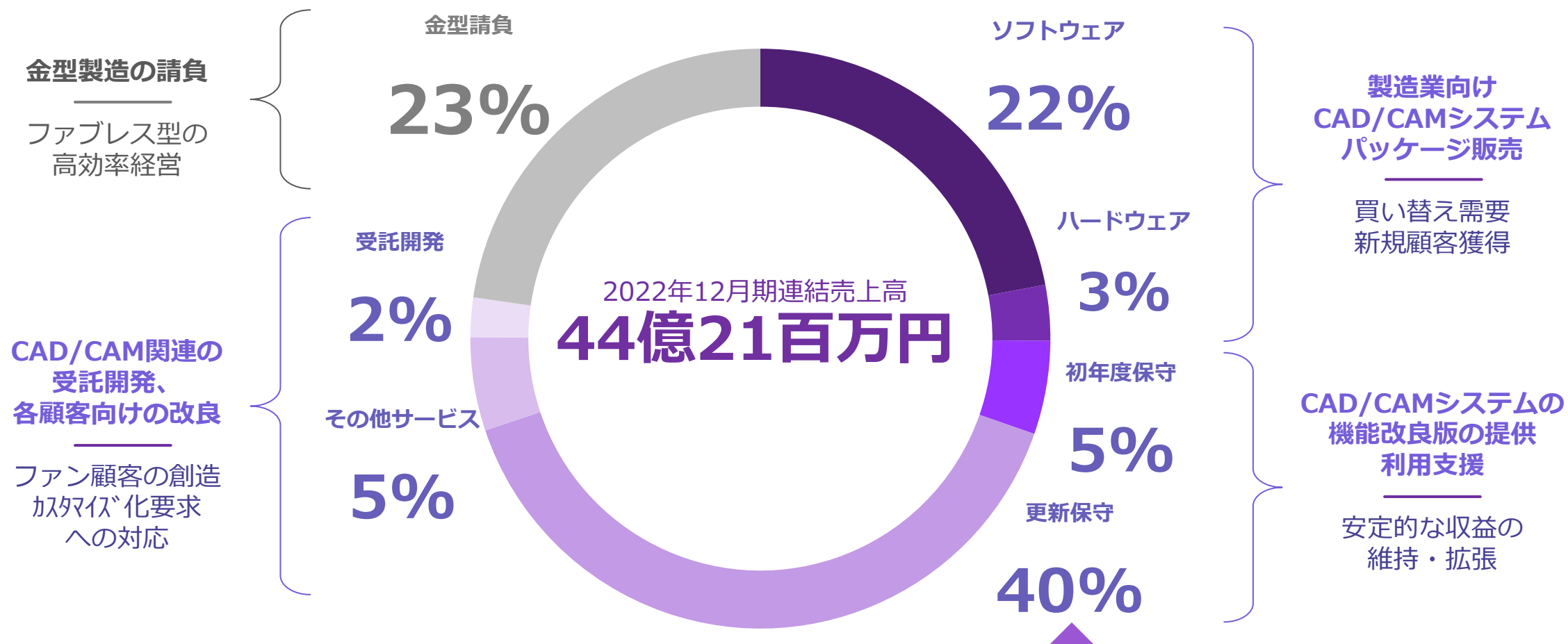
国内
6,000
事業所

トヨタ自動車 アイシン精機 豊田紡織 TMW デンソー ヤマハ発動機 三光合成 三菱重工 マツダ
深江工作所 三井ハイテック タカギ エスバンス パナソニック オムロン シマノ がまかつ
CHOFU 大阪造幣局 リョービ 昭和精機 岐阜精機 ミネベア 小糸製作所 スタンレー電気
本田技研工業 アルプスアルパイン ニフコ TOTO ニコン キヤノン オリンパス パロマ ローム

海外
1,000
事業所

LG電子 サムソン電子
現代自動車 DOOSAN機械
FOXCONN teleflex
Medical
友達光電 AMTEK

主力事業：金型向けCAD/CAMシステムの開発・販売・サポート



CAD/CAMシステム等事業の約5割を更新保守で構成

地域別（仕向地別）売上高

連結売上高 44億21百万円
(2022年12月期)

日本
CAD/CAM
66.1%

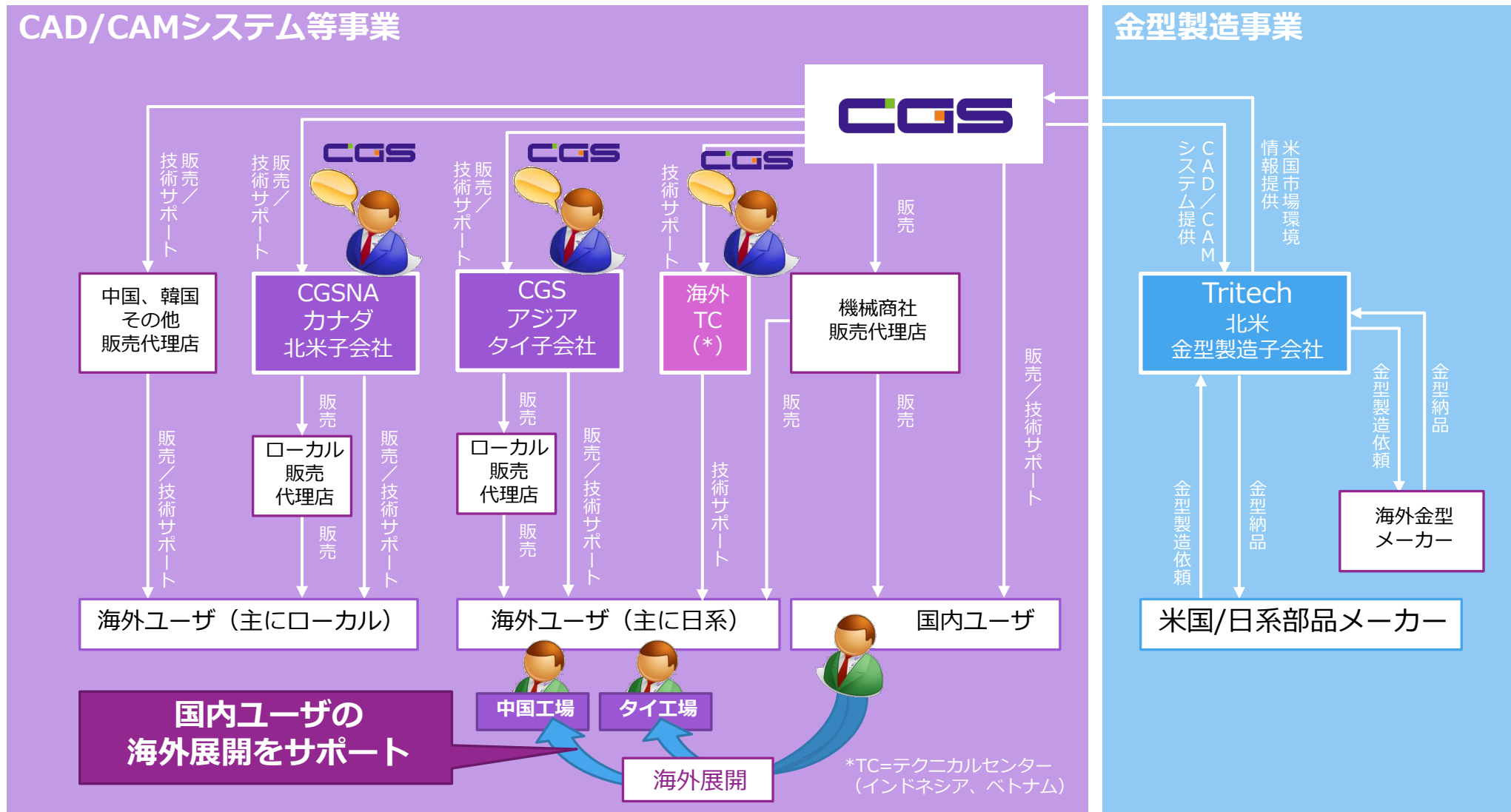
アジア
CAD/CAM
9.0%

北米その他
CAD/CAM
2.2%

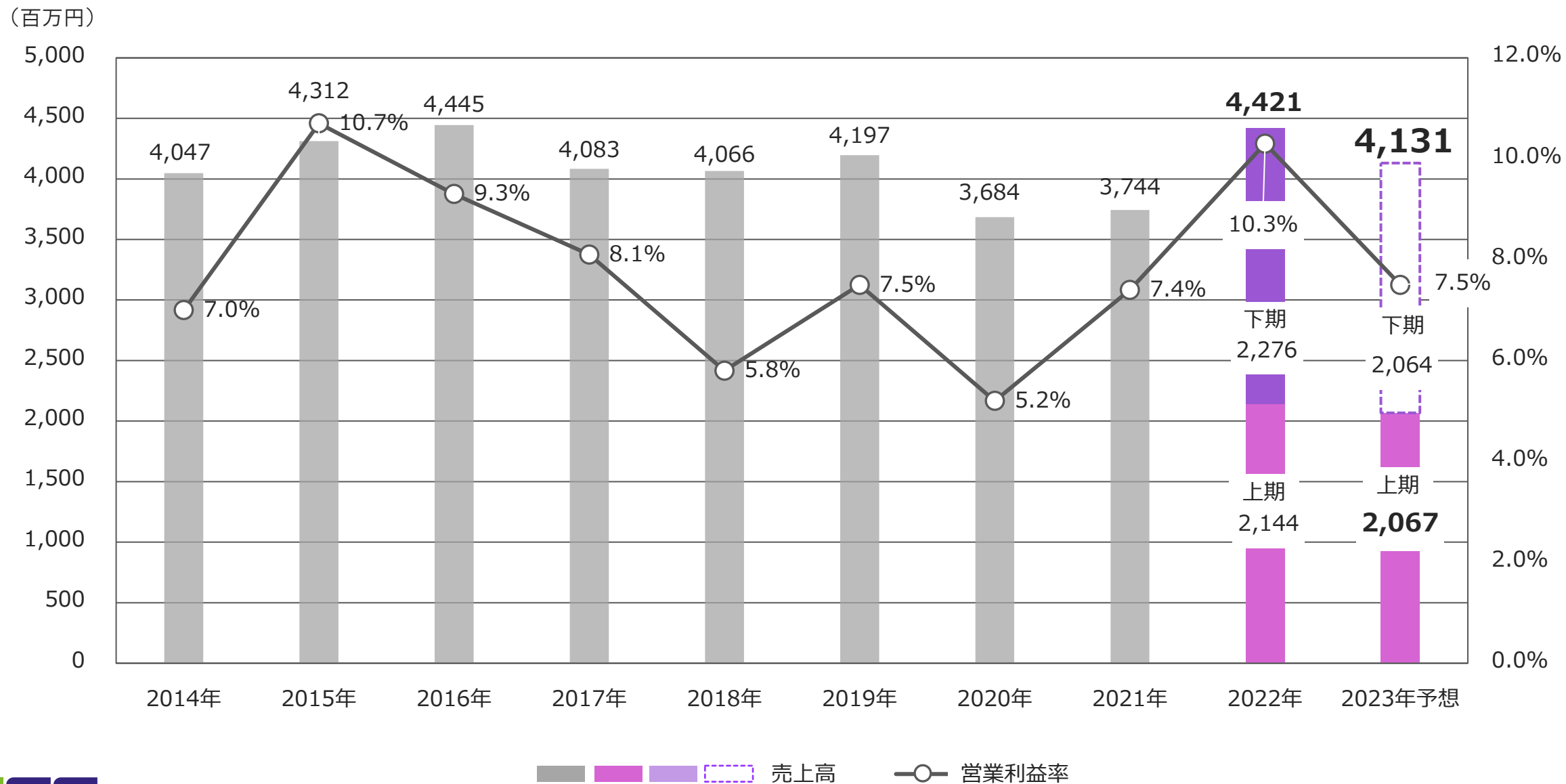
北米金型
22.7%

- ・ 海外販売割合（仕向地別）は34.0%（2022年12月時点）
- ・ 海外については技術代理店、事業拠点の拡充による地域完結型事業モデルを推進

事業系統図



連結業績の推移



02

2023年12月期第2四半期 決算概要

金型製造事業の売上減少が響き減収減益 利益面では営業費用の増加も影響

売上高

20億67百万円

前年同四半期比 △3.6%

営業利益

1億77百万円

前年同四半期比 △29.8%

国内CAD/CAM

- ・ 金型・部品製造向け工程管理システム「AIQ」の需要が増加
- ・ 半導体・精密電子部品の需要増を背景に主力製品である2次元/3次元融合型CAD/CAMシステム「EXCESS-HYBRID II」の販売が堅調に推移

海外CAD/CAM

- ・ 韓国において電気自動車関連の需要が好調に推移し売上が大きく伸長
- ・ ASEAN地域では営業機会の増加に伴いタイ、ベトナム等で製品販売が堅調に推移

金型製造

- ・ オートモーティブ市場におけるEVシフトの谷間で新機種開発が減少したことにより好調であった前年同四半期との比較では減収減益、ただし想定内

CAD/CAMシステム等事業

- ・ 営業費用がコロナ前の水準に戻ったことにより前年同四半期で減益

金型製造事業

- ・ 売上減による減益

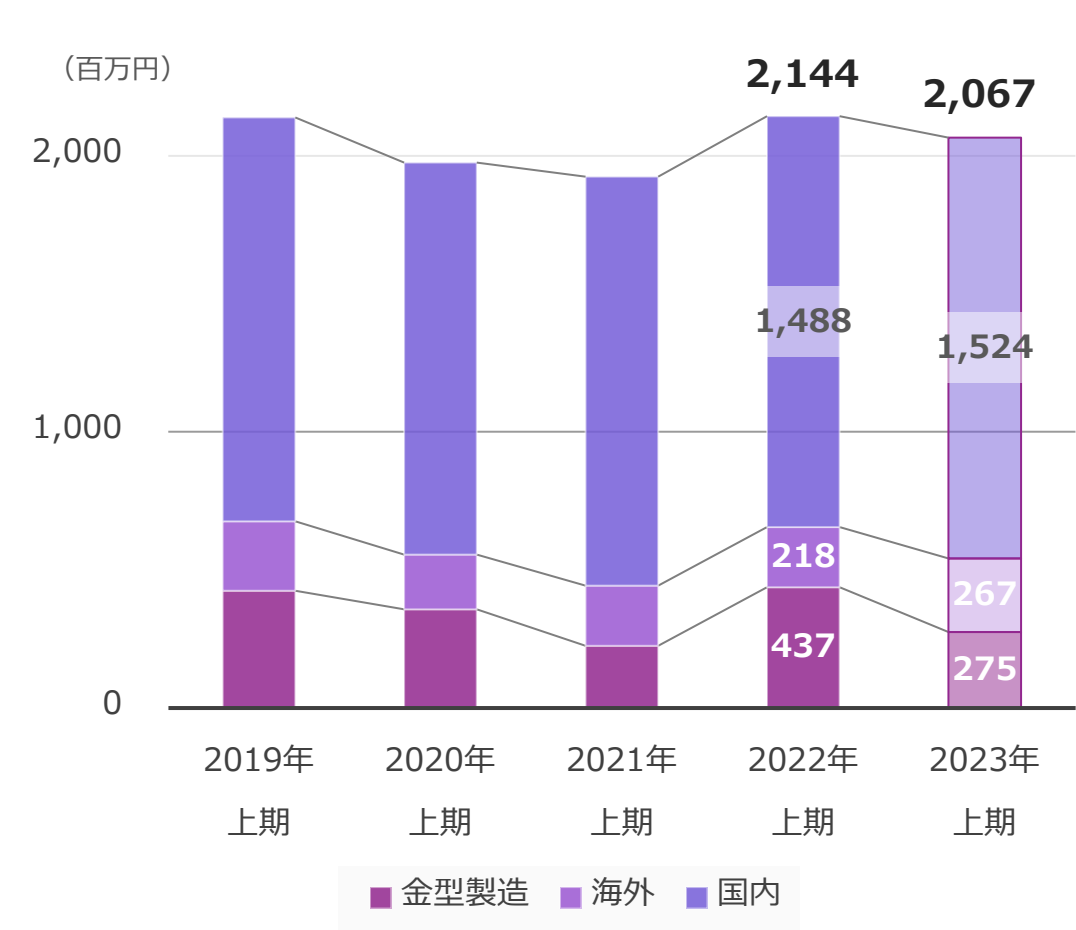
業績概要

	2023年 上期実績	売上比	2023年 上期計画	計画比	
				増減額	増減率
売上高	2,067	100.0%	2,069	△2	△0.1%
営業利益	177	8.6%	170	+6	+4.0%
経常利益	226	10.9%	188	+37	+19.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	135	6.5%	107	+28	+26.2%

		2022年 第2四半期 実績	2023年 第2四半期 実績	2023年 期末想定
為替 レート	ドル	136.68円	144.99円	142.00円
	パーツ	3.85円	4.07円	3.80円
	カナダドル	106.00円	109.34円	103.00円

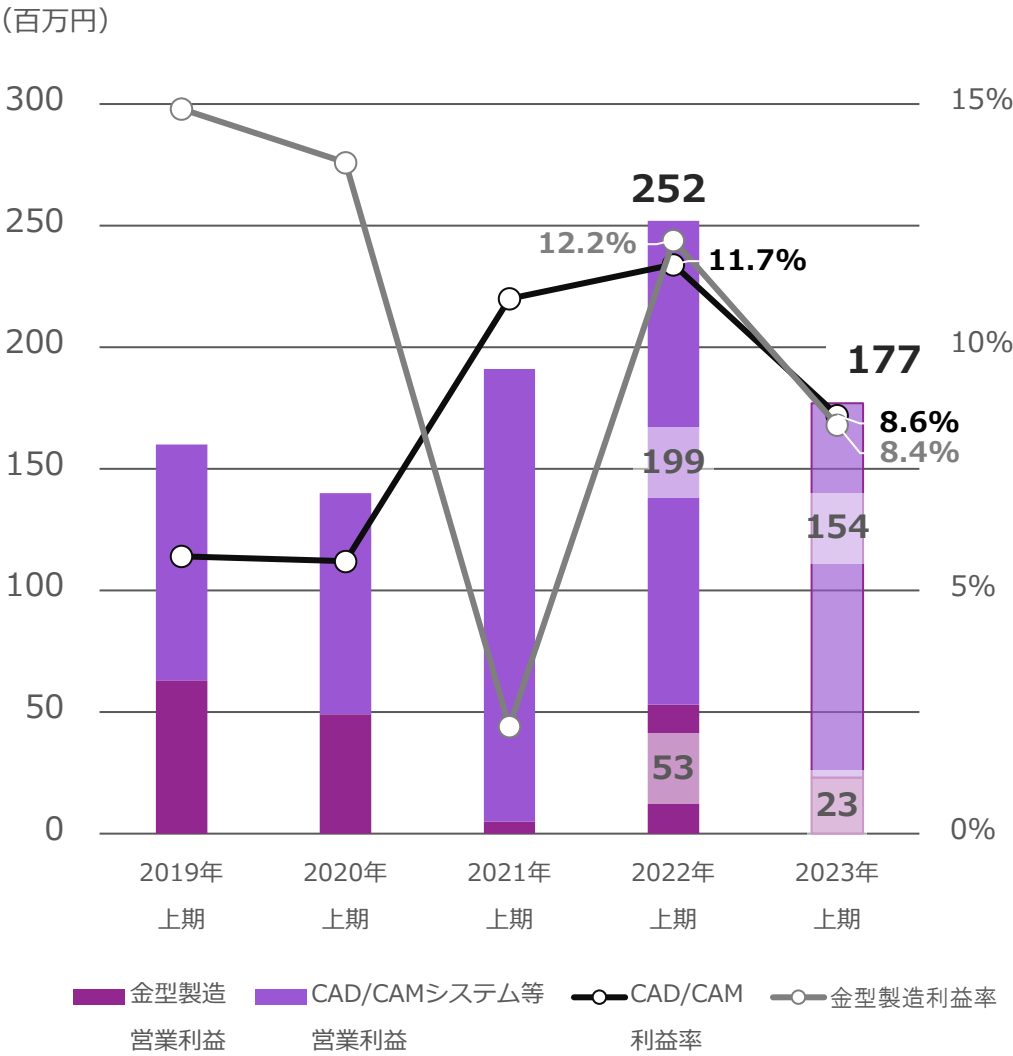
2022年 上期実績	前年同期比	
	増減額	増減率
2,144	△77	△3.6%
252	△75	△29.8%
281	△55	△19.6%
165	△30	△18.2%

事業セグメント別売上高の推移（仕向地別）



売上高 (百万円)	2022年 上期	2023年 上期	売上比	前年同期比	
				増減額	増減率
CAD/CAM	1,707	1,791	86.7%	+ 84	+ 4.9%
国内	1,488	1,524	73.7%	+ 35	+ 2.4%
海外	218	267	12.9%	+ 48	+ 22.1%
金型製造	437	275	13.3%	△ 161	△ 36.9%
合計	2,144	2,067	100.0%	△ 77	△ 3.6%

事業セグメント別利益の推移



科目 (百万円)	2022年 上期 【実績】	2023年 上期 【実績】	前年同期比	
			増減額	増減率
CAD/CAM				
売上高	1,707	1,791	+ 84	+ 4.9%
営業利益	199	154	△45	△22.6%
営業利益率	11.7%	8.6%		
金型製造				
売上高	437	275	△161	△36.9%
営業利益	53	23	△30	△56.7%
営業利益率	12.2%	8.4%		
合計				
売上高	2,144	2,067	△77	△3.6%
営業利益	252	177	△75	△29.8%
営業利益率	11.8%	8.6%		

連結貸借対照表

自己資本比率53.0%を維持

(百万円)	2022年末 実績	2023年上期 実績	増減
資産合計	5,734	5,822	+ 87
現金及び預金	2,999	2,884	△115
その他流動資産	839	969	+ 130
固定資産	1,895	1,968	+ 72
負債合計	2,593	2,682	+ 88
流動負債	1,248	1,306	+ 58
固定負債	1,345	1,375	+ 29
純資産	3,140	3,140	△0
負債・純資産合計	5,734	5,822	+ 87
自己資本比率 (%)	53.1%	53.0%	△0.1pt

資産の部：+87百万円

- ・電子記録債権+95百万円
- ・有形固定資産+28百万円
- ・保険積立金+53百万円
- ・現金及び預金△1億15百万円

負債の部：+88百万円

- ・契約負債+1億23百万円
- ・未払法人税等+14百万円

純資産の部：△0百万円

- ・利益剰余金
+純利益計上 1億35百万円
△配当金支払 1億24百万円
- ・為替換算調整勘定+32百万円
- ・非支配株主持分△40百万円

連結キャッシュ・フロー計算書

	2022年 第2四半期	2023年 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	149	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△187	△240
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128	△179
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	36
現金及び現金同等物の増減額	△102	△263
現金及び現金同等物の期首残高	2,720	2,964
現金及び現金同等物の四半期残高	2,617	2,701
フリーキャッシュフロー	△38	△120

営業CF

- 税金等調整前四半期純利益2億26百万円
：各事業の利益貢献
- その他の主な内訳：
（増加）契約負債の増加1億10百万円
（減少）売上債権の増加1億12百万円

投資CF

- （減少）定期預金の預入による支出
2億98百万円

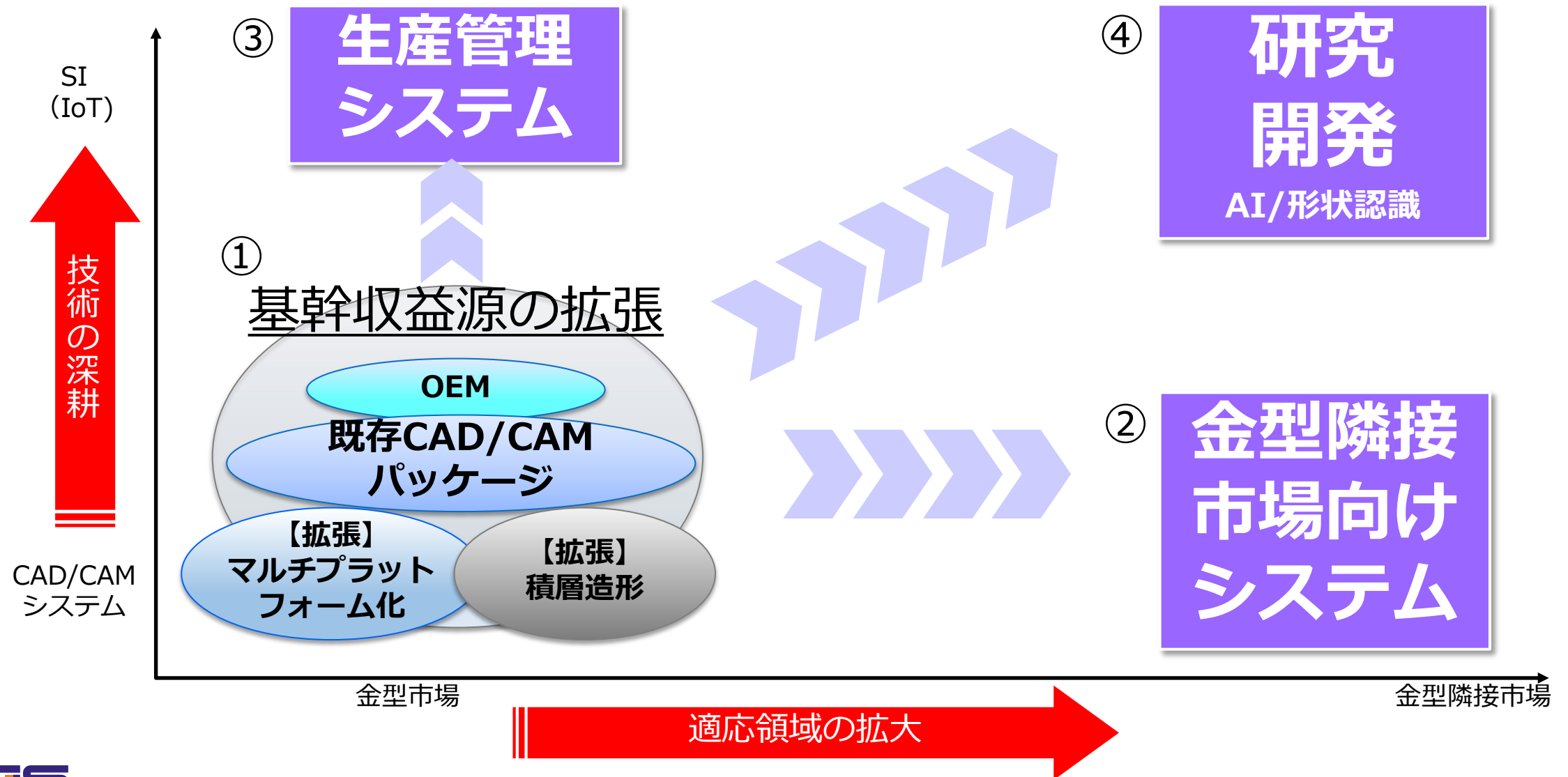
財務CF

- （減少）配当金の支払額1億79百万円

03

中長期事業方針

基本成長戦略の方向性



持続的成長への経営基盤を確立

保守事業による安定した収益構造の維持・拡張

継続的なバージョンアップによる保守更新率向上

高い保守更新率を維持

2022年12月実績 **93.7%**

シェア拡大

- OEM強化および同業他社、生産財メーカーへのCAD/CAMエンジンの提供
- CAMのマルチプラットフォーム化拡大
- 積層造形（金属/樹脂）分野の強化

NDES社へのOEM供給

- 2022年10月よりNDES社へのOEM供給開始
- その他の同業他社にもOEM供給を継続、新たなOEM先を引き続き開拓

国内＋海外戦略強化

- 海外技術代理店の拡充（アセアン圏）
- 海外拠点の拡充
- 技術サポート/ユーザカスタマイズの地域完結型事業モデル構築

ベトナム進出

- ハノイにてベトナムテクニカルセンターを2023年2月に開設
- 並行して技術代理店を拡大し販路拡大に注力



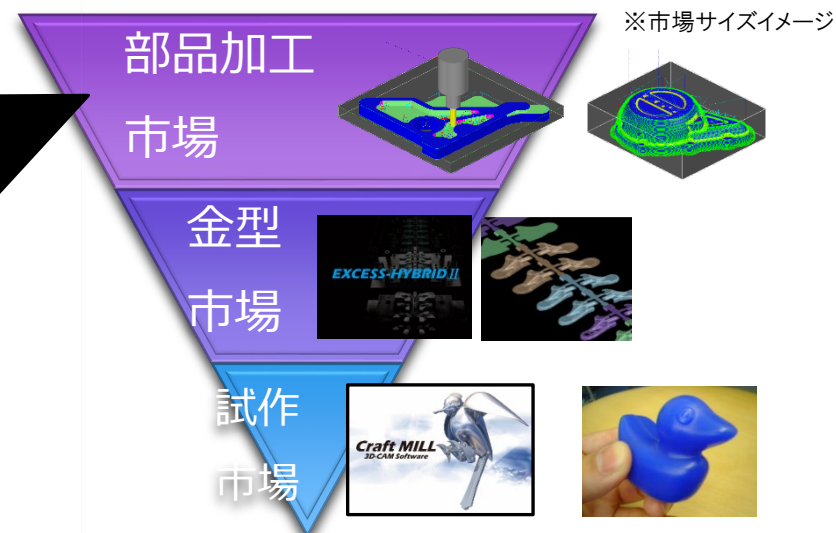
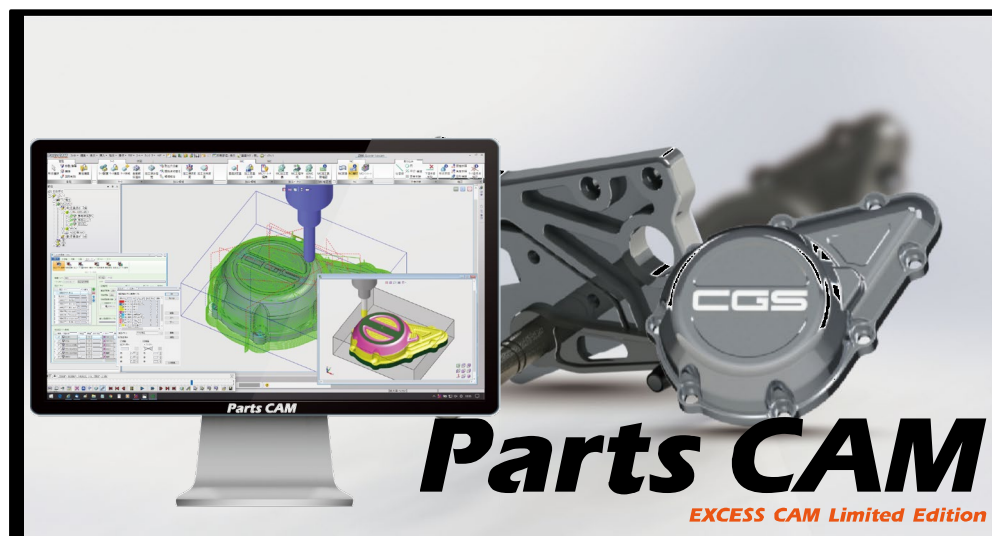
② CAD/CAM適応領域の拡大

Parts CAM

EXCESS CAM Limited Edition

～部品加工市場向け製品の展開～

- 金型加工で培った高精度なCAD/CAM資産を部品加工市場へ投入
 - ・・・ CAD/CAM事業領域の拡大⇒**部品加工市場、量産市場など新規市場開拓**

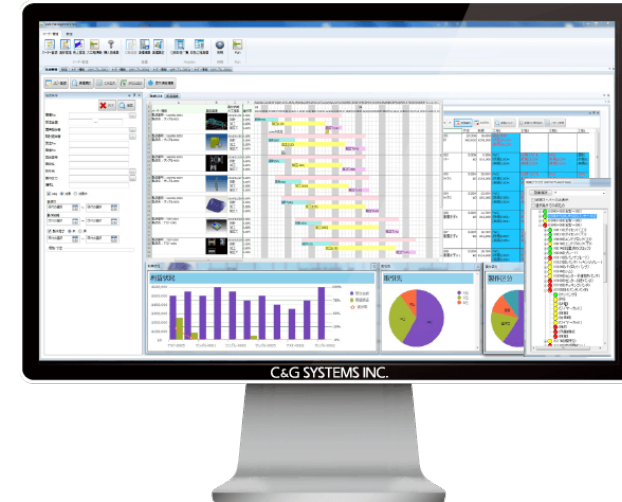
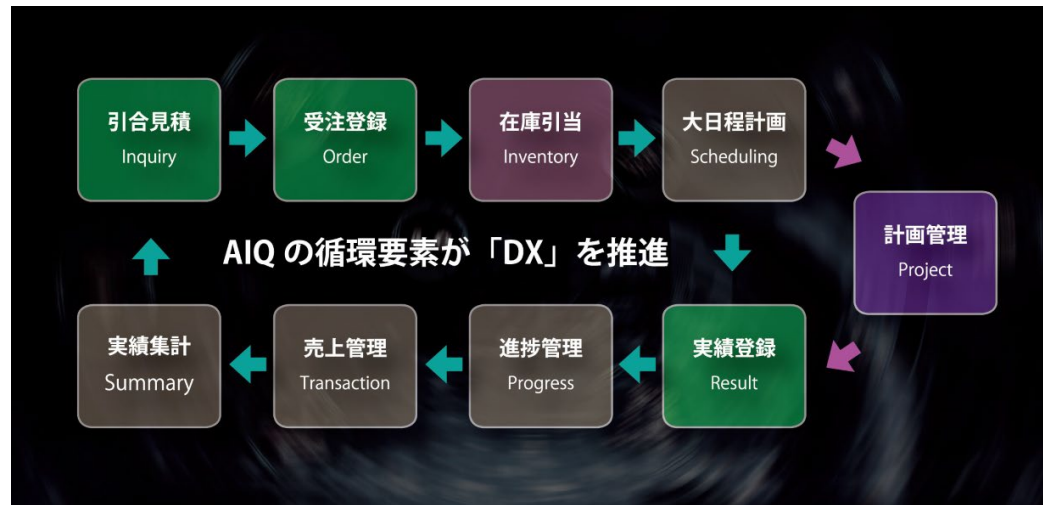


③技術の深耕（IoT分野への事業展開）

AIQ

～金型・部品製造業に特化した生産・工程管理システム～

■ IoTを活用した工程管理の需要の高まりに対応した 「金型・部品製造向け生産・工程管理システム」



- 最新バージョンV16.1では**量産管理強化による生産計画支援機能**搭載、**インボイス制度への対応**実施
- 年内に**AI類似画像検索機能**を追加予定、製品画像を生産実績の検索条件として指定可能に

④研究開発の推進

北九州学研都市内「技術開発交流センター」に研究開発部を設置



工場稼働の高効率化

エネルギー省力化

人材不足解消

熟練工の技術伝承支援

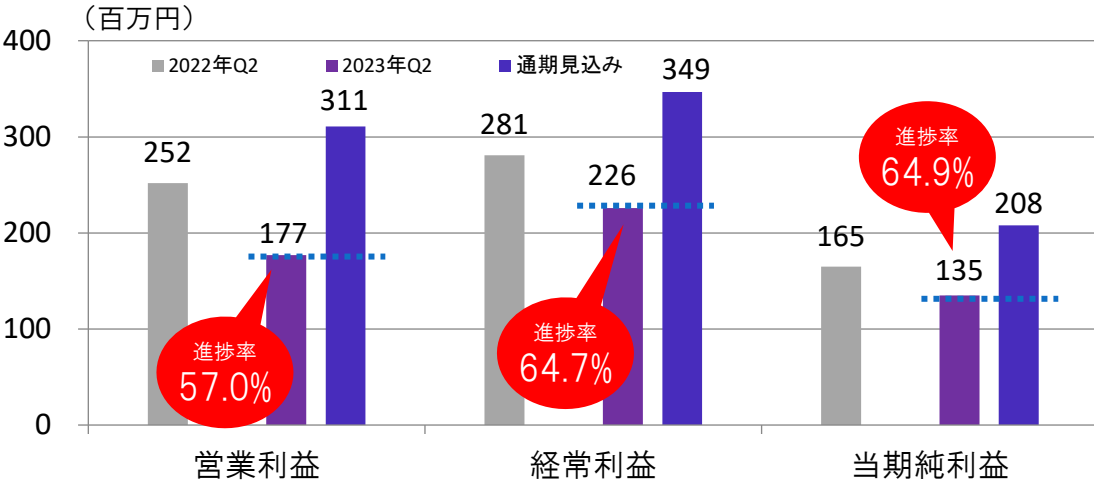
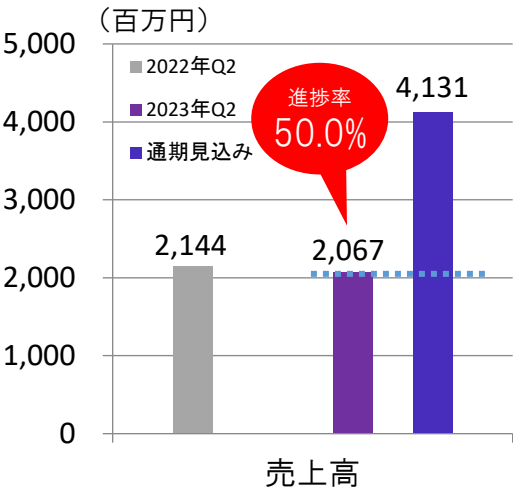
高齢化対策

04

2023年12月期 通期業績見通し

連結通期業績予想は据え置き

(単位：百万円)	①2022年 上期実績	②2023年 上期実績	前年同期比	③2023年 通期見込み	予想に対する進捗率 (②÷③)
売上高	2,144	2,067	△77	4,131	50.0%
営業利益	252	177	△75	311	57.0%
経常利益	281	226	△55	349	64.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	165	135	△30	208	64.9%



		2022年 期末	2023年度 連結業績予想 想定レート
為替 レート	ドル	132.70円	142.00円
	ユーロ	3.80円	3.80円
	カナダ ドル	97.89円	103.00円

2023年12月期 連結セグメント別業績予想

科目（百万円）	2022年上期 【実績】	2023年上期 【実績】	前年同期比	2023年通期 【予想】	予想に対する 進捗率
CAD/CAMシステム等事業					
売上高	1,707	1,791	+84	3,566	50.2%
営業利益	199	154	△45	306	50.3%
営業利益率	11.7%	8.6%		8.6%	
金型製造事業					
売上高	437	275	△161	565	48.8%
営業利益	53	23	△30	4	479.9%
営業利益率	12.2%	8.4%		0.8%	
合計					
売上高	2,144	2,067	△77	4,131	50.0%
営業利益	252	177	△75	311	57.0%
営業利益率	11.8%	8.6%		7.5%	

CAD/CAMシステム等事業

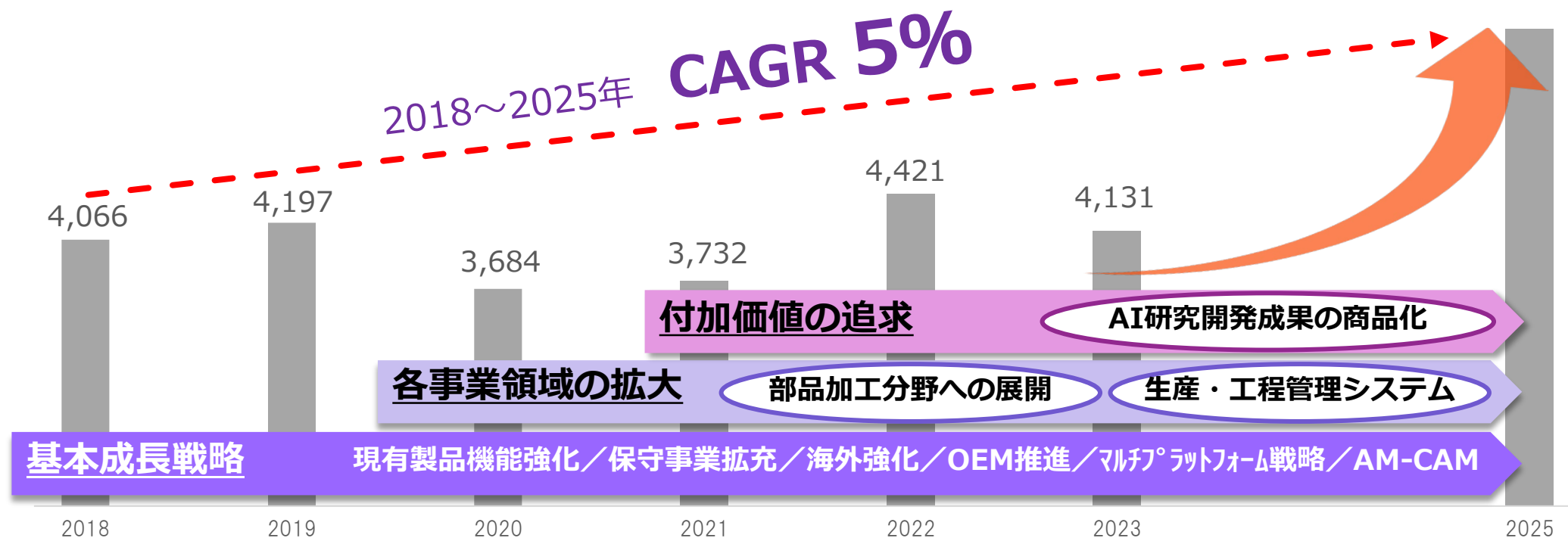
- EVシフトの動向、原材料高騰等の間接的な影響も懸念され、依然として先行き不透明感が拭えない状況ではあるものの、引き続き概ね堅調に推移する見込み

金型製造等事業

- 上期同様、新機種開発は少ない傾向、足元の受注動向も低調
- 来期以降の業績回復を見込む

今後の成長イメージ

【将来CGSが目指す姿】
金型・部品製造現場の最適化を支援する総合ソフトメーカーへ事業拡大



2018年の水準から
2025年に向けて

2018~2025年 CAGR
5%

2025年 経常利益率
20%

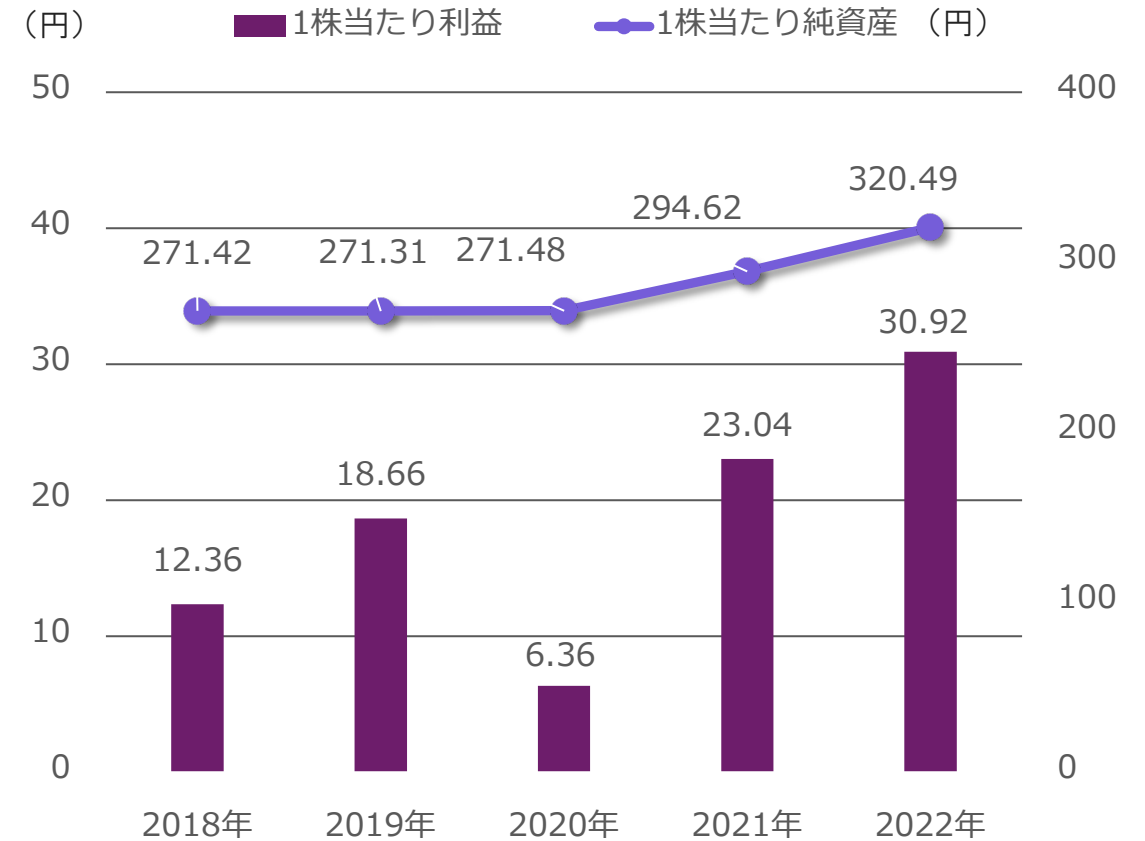
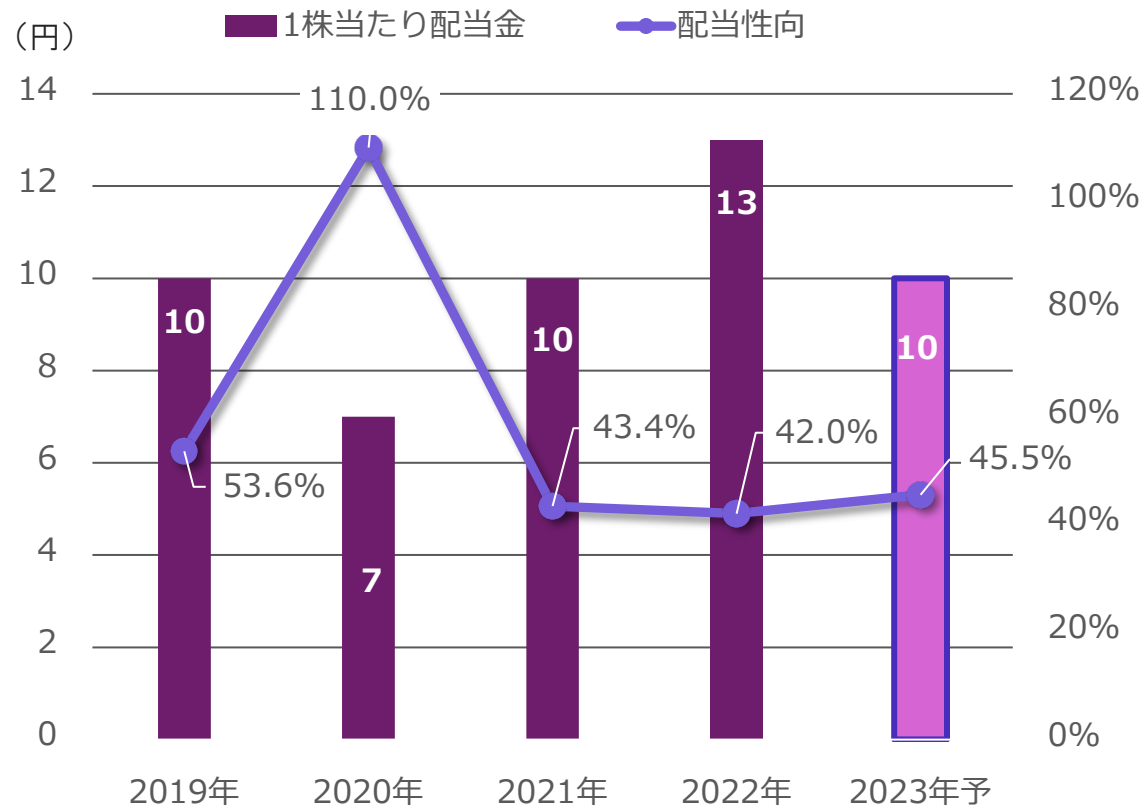
2025年 ROE
15%以上

05

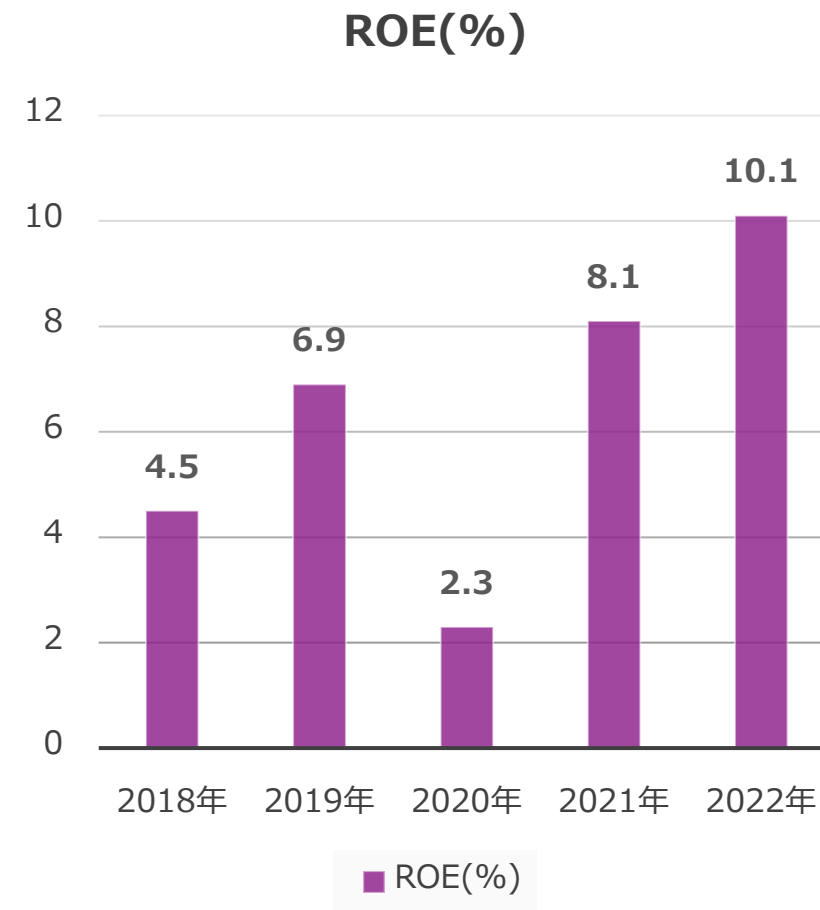
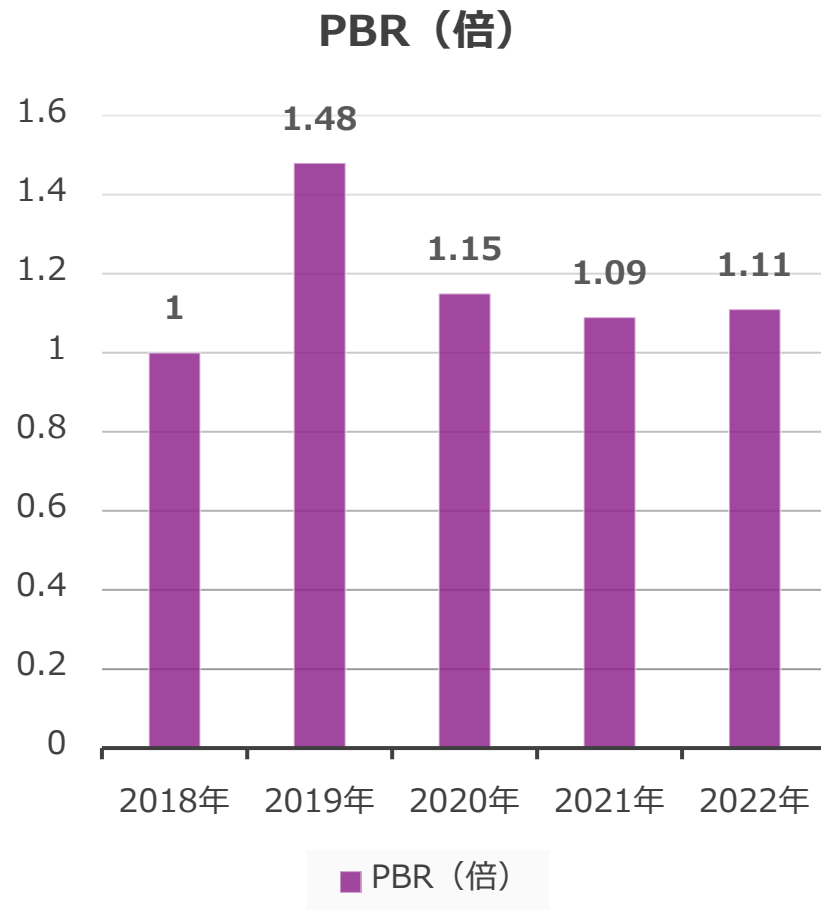
株主還元について

配当について

業績連動による配当を継続的に実施すると同時に企業価値の最大化を目指す



**PBRは1倍以上の維持を継続
収益性を高めることにより、ROEのさらなる向上を目指す**



本資料に関する お問合せ先

株式会社C & Gシステムズ
管理部IR担当

E-mail :
cgs_ir@cgsys.co.jp

本誌記載のデータは各種の情報源から入手したのですが、その正確性を保証するものではありません。
また業績予想、見通し等は、作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。